

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

2022 年（令和 4 年）9 月 21 日（水）
第 1548 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (寺木 正人 SAA)

●開会点鐘 (中村 重昭会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●会務報告 (中村 重昭会長)

皆さん、こんばんは。今日は、今話題のヤクルトスワローズの村上宗隆選手についてお話をさせていただきます。村上選手は現在、ホームラン 55 本と王貞治さんと肩を並べており、バレンティン選手の 60 本の記録まであと 5 本、残り 11 試合あるそうです。是非新記録を作って欲しいと思います。2 位の巨人の岡本選手とは 26 本の差があります。打点は 132 点で、2 位の阪神の大山選手とは 47 点も差がありますのでこの 2 つは確実です。打率は 3 割 3 分で、2 位が中日の大島選手で 3 割 1 分 6 厘で、大差をつけておりますので、是非とも三冠王を取って欲しいところです。

村上選手は熊本の九州学院高校出身です。高校時代には、1 年次のみ甲子園に行くことが出来ました。2、3 年次は秀岳館高校が非常に強く、熊本大会の決勝で敗れました。元々、彼はキャッチャーで高校時代の監督によると、目上の人の言葉を素直に受け入れる気質があるそうです。練習においては、トスバッティングが非常に上手かったそうで、他の選手は当てることだけで終わっていたのですが、彼は軸をしっかりと取っていたそうです。これは村上家のご両親の教えの賜物ではないかということでした。

高校 2 年次に熊本地震に被災をし、同学年の清宮選手は鳴り物入りで入団をした一方、村上選手は外れ 1 位でヤクルトに入団しました。プロ入り 2 年目の 2019 年に、2 年間の本塁打と打点に於いて、熊本城復興のために 86 万円を寄付しました。2020 年以降も本塁打を 1 本打つ毎に一定額の寄付を続けて、完全復旧予定の 2037 年まで支援をする意向を示しています。

現在 22 歳と非常に若いのですが、考え方がしっかりしていて、非常に謙虚に取り組んでいます。いずれ、メジャーリーグに行くのではないかと思います。引き続き応援していきたいと個人的には思っています。

●幹事報告 (志賀 義任幹事)

地区より「2022-23 年度 国際ロータリー ゾーン 1A,2 & 3 第 51 回ロータリー研究会のご案内」が届いております。こちらの対象者は会長、パスト会長、会長エレクトなどで広く参加を呼び掛けております。シェニファージョーンズ RI 会長もご出席される予定です。

東京品川ロータリークラブより会長変更のご報告が届いております。西山陽一会長の急逝に伴い、石川礼央新会長に変更されました。

9 月 20 日（火）第 2 回創立 35 周年実行委員会が東中神の翠鳳楼にて開催されました。

●卓話「新入会員 自己紹介」(石岡 純会員)

皆さまこんばんは。私は、192 年 7 月にこの昭島市で生まれ、今年で節目の 50 歳を迎えました。家族は妻と息子が 1 人、そこに今月で 3 歳になりました愛犬 1 匹が加わり、現在は田畑会長ノミニーのご自宅に近い青梅市野上町というところに居住しております。

幼少の頃の私は、今の図体からはとても想像ができませんかと思いますが、精神面を含めて体が非常に弱く、運動会や遠足等、何か大きなイベントごとがある時には、決まって前日の晩から高熱を出したり、嘔吐することがありました。両親が言うには 1 人っ子だったこともあり、甘えん坊で引っ込み思案、まるで女の子のような子供だったとのこと。「男子たる者、このまま成長したのではいかがなものか...」と私の将来を案じた父親により小学 3 年生の時から半強制的に町の空手道場へ入門させられました。当初は町道場で週 2 日の練習に励んでおりましたが、空手経験のある父親の影響を受け、毎朝 1 時間半に亘る親子稽古が始まり、町道場へも週 5~6 日のペースで通うようになり、半強制的に始めることになった空手でしたが、いつしかのめり込み、すっかり空手漬けの生活を過ごすようになっておりました。その甲斐あって、体が弱かった私もすっかり健康優良児となり、技術面におきましても中学時代は都大会や全国大会で入賞できる位にまで腕を上げることができました。また、町道場では高校生や社会人の先輩方より、日々稽古という名の厳しい指導を受ける中で「精神力・忍耐力・理不尽な縦社会に対する対応力」を培い、今の私の礎となっております。

私の両親は、共に桜祭りやねぶた祭りで有名な青森県弘前市の出身で、高校卒業と同時に上京し、当初は経済的にも苦勞したと聞いております。息子には同じ苦勞はさせまいという親心から、私は中学より明治大学の付属校

に通わせて貰っておりました。

高校進学を機に学業に専念するため、そう言えば聞かえは良いのですが、実際のところは高校に空手部が無かった為、情熱が覚めてしまったことにより7年間続けた空手と決別しました。本来はここで勉学に勤しむべきところですが、思春期の少年が放課後の自由な時間を手にした時、ことは良い方向に進むはずがありません。街に溢れる様々な誘惑に魅了され、結果的に高校生活は学業とは全く無縁の世界で刺激的な毎日を過ごすことになりました。詳細につきましては、皆様が聞くに堪えない内容となりますので、本日は割愛させていただきます。

楽しい時間はアツという間に過ぎ去り、瞬間に卒業後の進路を決める重要な時期を迎えました。ここで後の人生に大きく影響を及ぼす衝撃的な事実が発覚することになります。なんと、中学より付属校に通わせてもらっていたにもかかわらず、大学へ進学することが出来ないことが判明しました。確かに遊びが過ぎたとはいえ、推薦からこぼれることは想定しておらず「正に親の心子知らず」といった状況でした。当時は「3高」という言葉がもてはやされたバブル期で、高学歴・高収入・高身長でなければ女性に相手にしてもらえない言われた時代です。幸いにして、身長はご覧の通り要件を満たしておりました。高学歴を手にする道が閉ざされたいま、どのようにしたら高収入を得ることが出来るのか。それだけを必死に考えていた時、不動産業を営んでいた叔父と会う機会がありました。バブル期の不動産屋でしたのでそれはとても景気が良さそうで、仕立てのスーツにロレックスの腕時計を身に付け、車はお決まりのメルセデスベンツ！実際の懐事情は知る由もありませんでしたが、私の目に映ったその姿からは正に探し求めていた高収入のオーラが漂っておりました。その姿に憧れを抱き、宅建を取得した後に躊躇することなく不動産業界に飛び込むことを決意しました。

最初の就職先は1都3県で支店を展開し、当時は売買の仲介会社として名を馳せておりました。入社後に知ったことですが、同業者の間では、あそこで5年勤めあげたら大したものだと語り草になっていた会社です。先ず驚いたのは、給料システムが完全歩合給制であったことです。その為、束縛や集団行動を嫌う一匹狼や同業他社を渡り歩いたこの道何十年のプロ達がより多くの収入を求めて集まっており、社歴や年齢を問わず全員がライバル関係にあり、基本的には新人教育といった概念は存在せず、仕事は目で見て盗めといったスタイルでした。そのような会社で私は、母親と同世代の女性が管理職に昇進して初めて採用した部下だったこともあり、息子のように可愛がられ、不動産のイロハにつきましてもじっくり教わることができ、3年位の時間をかけて野球でいえば育成枠の選手から1軍登録の選手になるまで大切に育てていただき、そのおかげで多少は稼げるようにもなりました。

しかし、皆さん一時は稼げますが長くは続かず、浮き沈みが激しい世界です。それを物語るかのように、入社5年を迎えた頃には30名近い社員の殆どが入替わりしており、自分より社歴が長い方は5名位しか残っておらず、長く働ける会社ではないことに気づかされました。

地に足をつけ長く働ける会社で人生をやり直そうと転職先を探していた時、父親が扶桑建設の専属の職人をしていただくことが縁で、星野初代パスト会長が代表として率いる扶桑建設グループ内の扶桑管理サービスに入社しました。皆様ご承知の通り、社長は中村会長です。当社は不動産事業と介護事業を手掛けております。不動産事業で

は賃貸管理をメインとしておりますが、近年は売買仲介・買い取り再販事業・宅地開発分譲事業等も行っております。介護事業の方は主にサービス付き高齢者住宅の運営をメインとしております。入社以来、一貫して不動産事業に携わり、3店舗の営業所の立ち上げを含めて不動産事業に係わる部署を全て経験し、入社26年を迎え現在は専務と云う立場で会社業務の全般について管理担当しております。専務となってからも「自分を育ててくれた地域社会・稼がせていただいている地域社会に奉仕し、貢献することができて初めて一人前だ！だからお前はまだまだ半人前だ！！」と星野会長からは常々厳しい指導を受けておりました。

実際に社会奉仕とはどのようにしておこなうものなのかと考えあぐねている時、中村社長よりロータリークラブの存在について教えていただきました。「地域社会に奉仕をすることで少し世の中のお役に立てていることを実感できるし、様々な業種の経営者・士業の方、人生経験が豊かな大先輩達とお付き合いをさせていただくことにより、学び機会が得られるから入会したらどうだ。」とお誘いを受けると同時に【入会申込書】を手渡され、考える間もなく例会にお招きにあずかり、この時点で既に入会させていただき流れが出来上がっておりました。

新入会員であるにもかかわらず、親睦旅行やゴルフ部会の旅行等、親睦関連の行事だけは積極的に参加させていただいておりますが、社会奉仕活動につきましても少しずつ勉強し、早く皆様とご一緒させていただけますよう頑張ってお参ります。

●ニコニコBOX (菅野 晋央親睦副委員長)

○中村会長
石岡純会員、卓話ありがとうございました。又、細則の改正ご理解頂きありがとうございました。

○志賀幹事
石岡純様 本日の卓話ありがとうございました。楽しみにしておりました。

・重森会員
石岡さん、本日の卓話ありがとうございました。

・中澤会員
石岡様 卓話楽しみにしております。寺木様の司会も素敵です。

●出席報告 (鈴木 治六出席委員長)

会員数	48名
出席義務会員	47名
本日の出席	26名

●次週例会予定 (重森 元樹プログラム副委員長)

9月28日(水)「卓話」
児童養護施設 双葉園 園長 飯島 一憲様

●閉会点鐘 (中村 重昭会長)